

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
(准)校長名	松野 良彦

開催日時	令和 3年 6月 29日(火)15:30~17:00
開催場所	佐工会館1F
出席者(委員)	山田啓次会長、深井重行委員(副会長)、杉本英雄委員、奈須純子委員、
出席者(学校)	松野校長、山崎(健)教頭、吉岡事務部長、瀧本、飯田、西口、岩崎、川村、山口、水津、藤原、坂本、田中(亮)、奥田、森栗、山崎(公)
傍聴者	なし
協議資料	令和3年度学校経営計画及び学校評価、令和3年度各分掌目標、令和3年度普通科・各系組織目標、令和3年度「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組みについて
備考	

議題等(次第順)

- ・令和2年度学校経営計画及び学校評価
- ・各分掌・系よりの目標設定
それらの目標達成、課題解決に向けた取組について
- ・佐野工科地域コンソーシアムについて

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 生活指導部に質問。女子の髪型のどのような規定があるのか。
【Ans】「前髪が目にかからないこと」「カチューシャやヘアバンドなどで華美な印象のものは控えること」などがある。
- 昨年度、登下校時の自転車事故が多かった。最近、前かごのない自転車が増えてきていることに加えて、荷物が重いことも原因していると思う。定時制があることで荷物がすべて持ち帰りになっているが、教室にロッカーなどをつけていただけたらいいなあという意見がPTA協議でもでた。自転車の交通安全指導などで注意もしていただけると助かる。
- 頭髪について、ツーブロックの指導はどのようになっているか。中学校では来年に向けて認めていく方向である。高校でOKになっているところをリサーチしていく方針。工科高校が厳しいから行きたくないという結果になると残念である。
【Ans】企業の人事部の方が来られることが多いので、いつでも就職試験を受けに行ける高校生らしい髪型にするよう指導をしている。文部科学省の指示により、禁止理由を明確に説明できないことから特定の髪型の禁止を表現として使用しない。今後も引き続き高校生らしい華美でない髪型という表現での指導になる。
- 人権HRはどのような内容であるか。
【Ans】今年度について、1年生は障がい者理解、2年生はLGBTを含む性の多様性、3年生は国際理解に向けて平和学習についてそれぞれ外部講師を招聘して講演会を行っている。その他、人権学習についての広報紙をHRにて配布している。
- コロナ禍の社会に貢献するような取り組みはあるか。
【Ans】機械系:3年課題研究では生徒の声として、透明アクリル板を作り、駅、中学校、店など必要としているところに提供できるのではないかという案が出た。産業創造系:アクリル板なしで仕事ができるような新たな提案を模索中。現状はサーキュレーターを用いて隔離しなくてよい方法を検討中である。
- 経営計画から以前は希望者の多い学校であったが、今年度4月入学生で定員割れがあり、工科高校全体でも将来性を危惧される。さらなる工夫をしていただかないと次年度以降も厳しい状態であるので、課題解決型の学習にて、さまざまな提案が出るのは心強い。従来の方法で感染防止というのではなく、技術の力で解決する発案をしてほしい。系を超えての取り組みも、それぞれの特色を活かし、しっかりできたところに人や予算をつけてもらえるのではないかと思います。
- 教務部の3観点評価に合わせて、定期テストをなくすような議論はあるのか。
【Ans】まだ議論していないが、メリットとして次のようなことが考えられる。授業内で細かく区切ってテストをすることで頑張ったところがすぐに評価につながる。テスト前しか勉強しない生徒に対して日頃の授業を大切にさせ、学力の向上が期待できる。

○卒業後、進学する生徒はどれくらいか。
 【Ans】就職が7割、進学は3割で専門学校への進学が多いが、大学にもチャレンジできる。
 ○工科高校といえすぐに就職のイメージがある。経済的な事情で進学を断念していた生徒も、昨今では学費の保障システムも進み、いろんな道がある。就職率も良く、進学もできる選択肢の多い学校という表現のほうが、今の子どもたちのニーズにあっているのではないか。
 ○(中学校)ICTに関して、スマートスクール実現モデル校になっており、オンラインミーティングも行っている。近くなので見学や生徒会交流など、機会があればお勧めしたい。
 【Ans】ありがとうございます。本校でも生徒一人一台のクロームブック配備後、実施していく予定。デジタル教科書など将来的に実現すれば、先にあった荷物が多い問題も解決につながるかもしれない。

次回の会議日程

日時	令和3年10月末～12月の期間で予定	9月ごろに日程調整
会場		